

BUN-KA

Kariya Culture

[ブンカ]

夏号

4

vol. 2013

美術館レジャーの楽しみ。

BUN-KA Kariya Culture [ブンカ] vol. 4 平成25年7月1日発行 July 1, 2013 Issue 発行 448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104 発行 448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104 Wakamatsushima, Kariya-shi, Aichi, 448-0858, Japan

文化工房カリヤ

市民の文化にスポットライト

ぶんかのめ



ぶんかのめ vol.4

やたやすよ 愛知県立芸術大学声楽科を首席で卒業、同大学院修了。読売新人音楽賞、日本声楽コンクール入選など数多く受賞。アルトソロとして様々なオペラの出演や、宗教曲、合唱等で活躍中。名古屋芸術大学をはじめ、多数の大学の講師や刈谷市音楽協会の理事を務める。



谷田 育代氏

市民と一緒に!

中学校時代に音楽学校の存在を知り、その道に行こうと決めた谷田さん。「もともと音楽が好きで、すぐに『受験する!』と決めたいですね。声楽を選んだのは、学校の先生から『貴女は性格が歌向きだから、歌にしたら』というアドバイスを頂いて…(笑)」そこからはじまり、今では2000人のオペラハウスから、30人位の会場まで、音楽のジャンルを問わず幅広く活動されています。海外でも活躍されており、地元の刈谷には、音楽協会が設立されたのがきっかけで繋がりができたとのこと。「市民の方が芸術文化にもっと触れていただける機会をつくりたい。」と、市民参加型企画のボイストレーナーもされました。「この地域の方は”やる”となったらすごいパワーを持っているので、何もなかったところから一つのものを一緒に作ってみたいですね。例えば、『三河市民オペラ』という企画が他市で3、4年に一度開催されているのですが、その西三河版みたいなものとか。やっている最中は本当に大変だけど、作り上げる達成感を共に感じたい!」と熱く語って頂きました。～谷田さんご出演のオペラが、この夏、名古屋で公演!～日時:8月31日(土)、9月1日(日)共に16時開演。場所:名古屋市芸術創造センター。料金:全自由席五千円。演目:モーツァルト作曲オペラ「Così fan tutte コジファントゥッテ(女は皆こうしたもの)」。

■詳細は文化工房かりやのブログ <http://bkkariya.wordpress.com/>!

市民目線の“キキミミ”文化

文化工房かりや カリチャー倶楽部

毎週水曜日 午後4時から1時間放送
Pitch FM ピッチエフエム:ラジオ番組



83.8MHz



artCafe

アートをもっと身近に。



message feedback remind infomation

放送は毎週水曜日16時から1時間の放送ですが、「文化工房かりやカリチャー倶楽部」の収録は放送前月に行う、録り直しができない一発録りなんです。事前打ち合わせやチェックを念入りに行いますが、本番では思わぬムハブニングも!でも、プロの方にアドバイスをいただきながら、ラジオならではの良さを活かした情報発信を目指し、番組作りをしています。番組制作以前は、何気なく聴いていたラジオ。制作側になり聴き方も変わり、素敵な「耳の文化」の多さに気づきました。みなさんは非聴いて、一緒に良い文化を作りましょう。

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

文化工房かりや

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104
TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440
mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp



Check! Twitter : @B_K_kariya
Facebook : bunkakouboukariya
Blog : bkkariya.wordpress.com

文化工房かりや

美術館に家族旅行へ行こう。

美術館レジャー
感性旅行

県内の美術館でもここ最近注目を集める展覧会が数多く開催されていますが、皆さんは最近美術館に行きましたか？
刈谷市美術館でも、美術館開館30周年を記念した「コレクションの森」展が開催され多くの方が足を運ばれました。
今回文化工房かりやでも、刈谷市美術館開館30周年にちなんで、美術館の新たな楽しみ方を提案してみます。いろいろな作品に触れリフレッシュ・気分転換することでポジティブな意味で日常からの逃避ができる事が、美術館レジャーの醍醐味ではないでしょうか。心や脳のエステ・マッ

サージのように、アートな刺激を受けることで、時には子供心に帰リワクワクしたあの頃の気持ちも蘇ってきます。山や海に行くように感性で旅をするように、家族や恋人、友人を楽しむ事が出来れば、また新しい思い出が出来るのではないのでしょうか？映画やコンサートに行くような感覚で、別世界体験を美術館ですること、新たに発見をする喜びや行き詰まった時のヒントになる場合も。
また、割とやってる人も多いみたいですが、自分が一点作品を買うと仮定して鑑定士のような考え方で作品を見てみると、新

For kids いろんな「イロ」を
みつけよう！

「イロ」のさがしかた
空、木、草、葉っぱ、花、海、星など自然界には、無数の色あり、それ以上に人が作り出した色も沢山あり、私たちの生活は膨大な数の色のバリエーションの中で生活しています。美術館では色々な色を使った作品があります。本当に目に見えている色を使っていたり、イメージの色を使っていたり、同じに見えても少しニュアンスの違う色を使ったり…。写真でも、撮る時間帯によっては同じ時間で違って見えるし、同じような色の中では目立たない事もありますよね。でも、色にはその色の持つ力もあり、例えばこのベンチに使われている赤は元気の出る色なんです。それに一色で言い切れない色もあるし、シャボン玉ごしに見てみると、いつもの景色も虹色に見えたりします。そんな色々な色を見つけると、また新しい発見が出来るはず…。

イベント情報
昨年まで3回開催された「コスプレフェスタ in KARIYA」が今年、「刈谷アニメ collection 2013」としてリニューアルされます！コスプレイベントが盛んな産業振興センターを中心に、刈谷における新しい文化の発信として様々なイベントが開催されます。コスプレパレードや、アニメ制作会社による出展ブース、声優のトークライブなどのステージショー等市民もマニアも楽しめる内容が目白押しです。詳しくはホームページをチェックしてください。
2013年9月29日(日)
刈谷アニメcollection2013開催
http://www.kariya-guide.com/festival/?Mode=detail&code=11

刈谷城築城480年にちなみ

最近、市役所や図書館など市の施設に行くと玄関に「のぼり」が立っていますよね。「刈谷城築城480年」と「天誅組義拳150年」それに「かつなりくん」なるキャラクターが描かれた市内を走る連絡バスも目に付きます。どうやら刈谷市が市を挙げて取り組んでいる事業のようですね。そこで「BUN-KA」でも刈谷城築城480年を取り上げてみました。あらためて市民目線で考えてみるといろんな疑問が…そこで、刈谷市役所文化振興課の西川さんに聞いてみました。「教えて！西川さん！」

Q.なぜ築城480年なの？
A.平成25年度は刈谷城築城と天誅組義拳150年の節目の年です。様々な記念事業を通じて市民の皆さんに刈谷の歴史を再認識してもらい、市民と行政とが一体となって「歴史文化のまち刈谷」としてのまちづくりを始めるスタートの年と位置づけているのです。
Q.「かつなりくん」のモチーフとなった初代刈谷藩主水野勝成公は、どんな人物ですか？

A.水野勝成は永禄7年(1564)に生まれ、文武両道に優れた武将として知られ、勇猛さから「鬼日向」の異名を持つほどの闘将でした。徳川家康の従兄弟にあたります。ちなみに、マスコットキャラクターの「かつなりくん」は水野勝成公と市の花「カキツバタ」をモチーフにした、元気あふれるキャラクター。デザインは、年末ジャンボ宝くじのイラストも手がけた、刈谷市在住のイラストレーター「服部ユーイチ」氏の手によるものです。

西川さんありがとうございます。現在は企業城下町とも言われる刈谷ですが「刈谷城築城」をキーワードに480年前の刈谷を想い、地元の歴史ロマンに触れるいい機会にしたいですね。



夏に行われる主な
刈谷城築城480年記念イベント

8/27(土)～8/25(日)
刈谷城築城480年記念展
場所：刈谷市美術館

8/3(土)
市民大学講座 小和田哲男(歴史学者)
場所：刈谷市総合文化センター

8/4(日)
江戸時代考証学講演会
場所：刈谷市総合文化センター

8/10(土)
刈谷城築城480年記念会
場所：刈谷市産業振興センター

8/24(土)天誅組シンポジウム
場所：刈谷市中央図書館

詳しくは市民だよりや、刈谷城築城480年ホームページでお知らせします。

刈谷城築城480年ホームページ <http://www.city.kariya.lg.jp/history/>

刈谷市総合文化センター アトリウム イベント
アートマルシェ
artMarché
芸術市場

- アートマルシェ公演スケジュール 入場無料のアトリウムコンサートです♪
- №6 7月6日(土) 14:00～16:00 出演者 LEO STEEL PAN TEAM(スチールパン)
♪特別企画♪ Aloheart(フラ&タヒチアンダンス)
【彩り豊かな初夏のお楽しみ】 7notes(コーラスユニット)
 - №7 9月7日(土) 時間未定 出演者 森三郎 刈谷市民の会(紙芝居とヘルマン・ハーブ)

総合文化センター・アイリスのエントランスは壁面がガラス張り吹き抜けの開放的な空間「アトリウム」となっています。古くはギリシャ神話の水盤のある中庭をアトリウムと呼んでいたそう。「アトリエ」の語源とも…。アートマルシェ(芸術市場)ではこの自由な空間を使って、刈谷市在住・在勤・在学の出演者が皆様に文化芸術をより身近で親しみを持っていただけるように様々なパフォーマンスを繰り広げています。
5月11日(土)には「LUANA(ルアナ)フラ&タヒチアンダンス」による第5回アートマルシェ『ハワイとタヒチの優しく熱い風』を開催いたしました。雨模様のお天気でしたが多くの方が足を運んで下さり大盛況となりました。衣装を次々と替えて現れる出演者の美しいフラ・タヒチアンダンスにうっとり見とれてしまった方も多いのでは？演目では『カヒコ』と呼ばれる詠唱と踊りも披露されました。調べてみると「自然や神に対する礼拝を込めて詩を唱えながら踊るというかなり宗教的で神聖な踊り」なのだそう。
今年いろんなジャンルの出演者が出演を待っています。これからの公演でも普段着で気軽に楽しんでいただくこの場所に、多くの皆さんにお越しいただけますようスタッフ一同お待ちしております。

5月11日(土)15:00～16:00「終了」
出演者 LUANA ルアナ
(フラ&タヒチアンダンス)

№5